

DI ニュース

2023. 10

～医薬品の保管温度～

鎮咳薬や去痰薬等の安定供給が問題になっている中、当院ではサリパラ液やキョウニン水など液体の薬剤の処方が増えています。液体の薬剤は精製水や甘みの強いシロップ剤と混合して調剤することが多く、冷所で保管をして頂くように説明しています。では、この「冷所」というのは具体的には何度でしょうか。

日本薬局方*で冷所は、「別に規定するもののほか、1～15℃の場所」と定められており、「別に規定するもの」というのは「2～8℃」など具体的な温度が示されている場合のことです。医薬品の保管温度は、添付文書の「貯法」欄に記載があり、注射剤や外用薬の場合は本体ラベルにも記載されています。有効成分が同じ医薬品でもメーカーによって保管温度が異なるものもあり、先発医薬品から後発医薬品への変更(またはその逆)になった場合には注意が必要です。

当院採用の医薬品のうち保管温度が25℃以下のものを下表にまとめました。病棟や診察室の冷蔵庫で医薬品を保管する場合は、日々の温度管理が重要です。保管している医薬品に合った正しい温度下での管理をお願いします。

保管温度	2～8℃	5℃以下	10℃以下	冷所(1～15℃)	15℃以下	凍結を避け25℃以下
医薬品名	アクテムラ皮下注162mg	ボトックス注用	アクトシン軟膏	HCGモチダ5千単位	ユベラ軟膏	ディプリバン注-キット
	アルケラン錠		一般診断用精製ソベルクリン	アデホス-Lコーワ注		
	インフリキシマブBS「NK」		シグマート注	点眼・点鼻用リンデロンA液		
	ウテメリン注		トロンビン経口・局所用液	フィブラストスプレー		
	エンブレル皮下注ペン		ニコランジル静注用「サワイ」	フロマゼパム坐剤(セニラン)		
	キサラン点眼液		ニトロプロ持続静注液	ボルタレンサポ		
	ダルベポエチン「MYL」			メチルエルゴメトリン「あすか」		
	ネスブ注射液			リアルダ錠		
	パーサピブ静注透析用					
	プロジフ静注液					
ホストイン静注						
保管温度	凍結を避け2～8℃	凍結を避け5℃以下	凍結を避け10℃以下	凍結を避け冷所(1～15℃)	凍結を避け15℃以下	
医薬品名	アダリムマブBS皮下注「第一三共」	アルプロスタジル注射用「サワイ」	イムノブラダー勝注用	グルカゴンGノボ注射用	キシロカイン注射液エビレナミン含有	
	シンボニー皮下注	スキサメトニウム「マルイシ」	沈降破傷風トキソイド	ゾラデックス3.6デポ		
	ニューモバックスNPシリンジ	リブル注	デスマブレシン点鼻スプレー	ゾラデックスLAデポ		
	ヒューマリン3/7注ミリオベン		テタノブリン筋注用	ビトレシン注射液		
	ヒューマリンN注ミリオベン		トロンビン液モチダ			
	ヒューマリンN注100単位/ml		ハプトグロビン静注			
	ヒューマリンR注100単位/ml		ビームゲン注			
	ヒューマリンR注ミリオベン		ヘプスブリンIH静注			
	ヒューマログ注ミリオベン					
	フォルテオ皮下注キット					
	ランタスXR注ノロスター					

日本薬局方*：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第41条により、医薬品の性状及び品質の適正を図るため、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定めた医薬品の規格基準書

参考資料：第18改正日本薬局方 通則、厚生労働省ホームページ、医薬品添付文書およびインタビューフォーム